

参考資料

分類名〔野菜〕

参 10

12 月出荷を目標としたセリ「Re14-4」の植付適期

宮城県農業・園芸総合研究所

要約

セリ「Re14-4」について、植付から最低出荷規格の草丈 30cm までの有効積算温度に基づき、12 月出荷を目標とした植付適期を推定した結果、石巻市、名取市ともに 9 月下旬頃である。

普及対象：露地野菜を導入する経営体
普及想定地域：県内全域

1 取り上げた理由

セリ栽培において、宮城県は県内作付面積（24ha）及び出荷量（417t）で全国 1 位を誇る産地である（農林水産省「令和 4 年産地域特産野菜生産状況調査」より引用）。近年はセリ鍋ブームにより冬に収穫する「根ゼリ」の需要が高まっている。しかし、近年の気候変動に伴う残暑の長期化により、高値の取引となる 12 月よりも前に生育が進み、ほ場で生産物が出荷規格を超えることが問題となっている。一方、10 月下旬から 11 月末にかけて気温が平年を下回ることによって草丈が伸び悩み規格に満たない事例もあり、生産地では植付時期を試行錯誤している状況である。

そこで、農業・園芸総合研究所が令和 2 年に開発したセリ「Re14-4」について、高値の取引となる 12 月出荷を目標とした植付適期を明らかにしたので参考資料とする。

2 参考資料

（1）セリ「Re14-4」は、最低出荷規格である草丈 30cm には有効積算温度（基準温度 5℃）にして 565.8℃日を要する。これより 12 月収穫を目標とした植付適期を推定すると、石巻市は 9 月下旬、名取市は 9 月下旬から 10 月初めである（図 1、図 2）。

（2）石巻市では 9 月中旬の植付で 11 月の収穫、9 月下旬の植付で 12 月の収穫となる。名取市では 9 月下旬から 10 月 5 日頃までの植付で 12 月の収穫となる（表 1）。

月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
旬	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下	上中下
種田	○											
冬春どり												
本田（石巻市）	●											
本田（名取市）	●●											

○=親株の定植、□=種セリの採取期間、●=種セリの植付け、■=収穫期間

図 1 推奨するセリ「Re14-4」の 12 月どり作型

3 利活用の留意点

（1）植付適期推定に「農研機構メッシュ農業気象データ（The Agro-Meteorological Grid Square Data, NARO）（大野ら、2016）（https://amu.rd.naro.go.jp/wiki_open/doku.php?id=about）」を使用。各地アメダスの緯度経度における日平均気温のデータ（平成 28 年～令和 7 年）を取得して利用した。地温や水温、降水量及び日射量の影響は考慮していない。

（2）セリの栽培には多くの水が必要であり、地下水等を利用できる環境が望ましい。また、ほ場は種田と本田の 2 つが必要である。種田でランナー（種ゼリ）を発生させ、植付 2 週間前に採種して定期的にかん水し、発根させてから本田に植付する。種田と本田での作型は図 1 を参照のこと。

（3）種田の基肥は、窒素換算で N=1.5～2.0kg/a、親株の植付密度は株間×条間=30cm×30cm が目安

となる。親株が活着するまでは浅水で管理、活着後も土壌が湿っている状態を維持する。

- (4) 本田の基肥は窒素換算で $N=2.0\text{kg/a}$ とする。植付時は種ゼリが風等で流されないように、種ゼリ同士が組むように植付ける。また、植付本数の目安は 400 節/m^2 とする (図 3)。
- (5) 十分な草丈を確保するためには水位管理も重要である。植付時は 3 cm 程度の浅水で、活着するまで止水とする。活着から 10 月下旬までは、深水にすると徒長する恐れがあるため、最大でも草丈の半分までとする。11 月中旬からは気温が低下するため、水位を草丈の $\frac{2}{3}$ 程まで上げ、凍結防止のため以降は流水管理とする。11 月下旬～12 月の厳寒期には霜害防止のため、葉先が $5\sim 10\text{cm}$ 水面から出る程度まで水位を上げて流水管理する (図 4、図 5)。
- (6) 「Re14-4」は病害抵抗性、虫害抵抗性がないため、防除を行う必要がある。農薬は「せり」、「せり科葉菜類」、「野菜類」を対象に登録されていることを確認し、用法を厳守する。
- (7) 親株の購入及び増殖については宮城県育成せり新品種「Re14-4 (りじゅうよんのよん)」-宮城県公式ウェブサイト (<https://www.pref.miyagi.jp/soshiki/engei/re14-4.html>) を参照。

(問い合わせ先：宮城県農業・園芸総合研究所露地園芸部 電話 022-383-8124)

4 背景となった主要な試験研究の概要

(1) 試験研究課題名及び研究期間

主要露地野菜生産に関する気候変動適応技術開発事業 (県単) (令和 3 年～令和 7 年度)

(2) 参考データ

表 1 セリ「Re14-4」の石巻市と名取市における収穫時生育

品種	試験場所	試験年度	植付日	収穫日	収穫物全重			収穫時生育				規格内割合 (%)	有効積算温度 ($^{\circ}\text{C}\cdot\text{日}$)
					(g/m^2)	(g/m^2)	(kg/a)	1 株重 (g)	草丈 (cm)	基部太さ (mm)	葉色 (SPAD)		
Re14-4	石巻市	令和 7 年	9 月 18 日	11 月 17 日	-	-	-	14.0 ± 3.6	47.0 ± 2.9	8.9 ± 1.7	32.5 ± 2.4	96.0	597
			9 月 21 日	12 月 4 日	-	-	-	10.9 ± 4.1	46.1 ± 2.9	8.1 ± 1.9	34.3 ± 2.2	100.0	612
			9 月 26 日	12 月 4 日	-	-	-	13.5 ± 4.7	48.2 ± 2.6	8.2 ± 1.7	35.2 ± 3.5	100.0	535
	名取市 (所内)	令和 4 年	10 月 5 日	12 月 22 日	6,455	3,570	357	9.1 ± 2.1	40.0 ± 3.7	8.7 ± 1.1	26.8 ± 2.3	100.0	423
			10 月 13 日		5,321	2,843	284	7.8 ± 2.1	39.3 ± 3.0	7.7 ± 0.9	30.6 ± 3.5	100.0	344
		令和 5 年	10 月 4 日	12 月 12 日	8,669	4,747	475	16.0 ± 1.7	51.3 ± 3.4	9.7 ± 0.6	31.7 ± 2.2	70.0	482
			10 月 12 日		7,437	3,744	374	13.5 ± 3.2	37.8 ± 1.9	9.1 ± 0.9	28.3 ± 1.8	100.0	412
		令和 7 年	9 月 30 日	12 月 25 日	6,779	2,546	255	15.3 ± 3.9	43.5 ± 3.8	8.2 ± 1.1	34.3 ± 3.0	100.0	514
			10 月 8 日		3,928	1,354	135	14.4 ± 3.7	40.7 ± 3.0	7.9 ± 1.4	32.3 ± 3.2	100.0	393

注 1) 値は平均値±標準偏差を示す。

注 2) 調査株数：名取市⇒令和 4 年～令和 5 年は 50 株、令和 7 年は 30 株。石巻市は 15～25 株。

注 3) 「-」は調査未実施であることを示す。

注 4) 規格内割合：調査株の内、草丈 $30\sim 53\text{cm}$ に収まる株の割合。基準は令和 8 年 2 月時点での市場への聞き取り調査に基づ

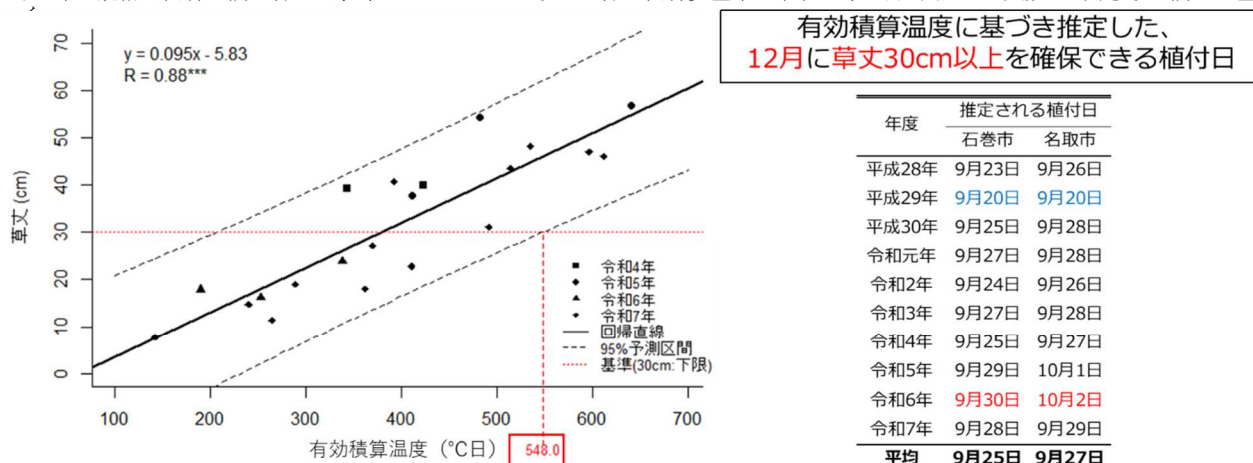


図 2 セリ「Re14-4」の草丈と有効積算温度の関係 (左)、それに基づく主産地での植付適期 (右)

注 1) 気象データは所内ほ場周辺におけるメッシュ農業気象データ (平成 28 年～令和 7 年) より取得した。植付日の推定もこれに基づく。

注 2) 有効積算温度は植付日翌日から収穫日前日までの期間において、日平均気温から基準温度 5°C を差し引いた値を足し合わせた。日平均気温－基準温度が負の値となった場合は 0 とした。

注 3) 調査株数：令和 4 年～令和 5 年⇒50 株、令和 6 年⇒10 株、令和 7 年⇒10 株～30 株

注 4) R は Pearson の相関係数を示す。また、***は $p<0.001$ で有意な相関が認められたことを示す。



図3 本田における植付密度の目安



図4 栽培期間中の草丈と水位管理（令和7年所内）

注1）草丈の調査株数は10株。エラーバーは標準偏差を示す。

注2）水位は水田ファームにより計測した。

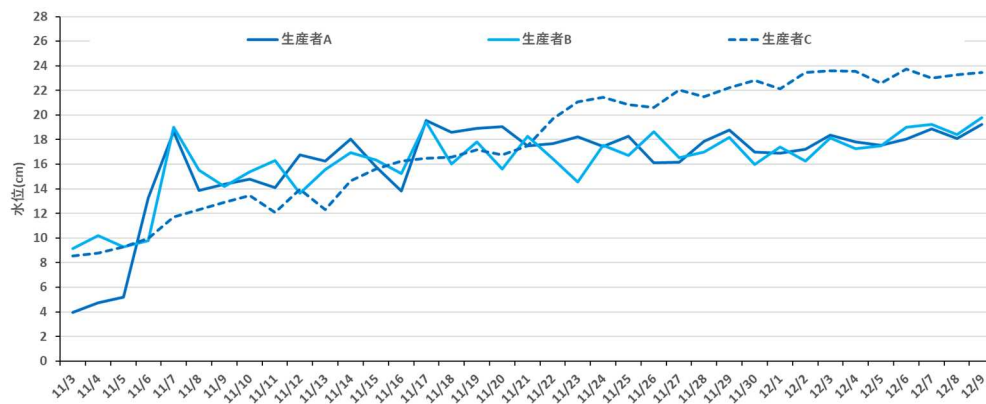


図5 石巻市のセリ生産者の水位管理（令和5年）

注）水位は水田ファームにより計測した。

（3）発表論文等

イ 関連する普及に移す技術

高品質で収量性に優れるセリ新品種「Re14-4」（第96号普及技術）

ロ その他

高橋勇人、大坂正明、遠藤柳子、鹿野弘、佐藤侑樹、澤里昭寿、伊藤隼、板橋建、千葉直樹、大森紀代美（2024） 外観形質および収量性に優れるセリ新品種「Re14-4」の育成と栽培特性. 宮城県農業・園芸総合研究所研究報告 91:11-26.

（4）共同研究機関

なし